

**製品名: CHRNB3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82066**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	52.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CHRNB3
別名	CHRNB3
遺伝子 ID	1142.0
SwissProt ID	Q05901
免疫原	大腸菌で発現したヒト CHRNB3 (AA: 追加 25-232) の精製された組み換え断片。

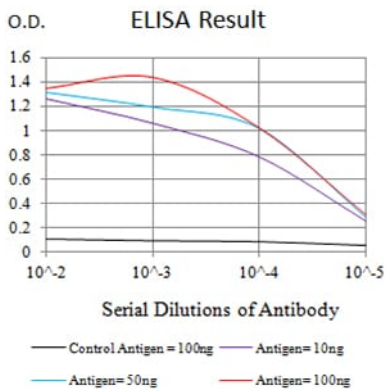
**背景**

ニコチン性アセチルコリン受容体 (nAChR) は、シナプスにおける高速信号伝達を媒介するリガンド依存性イオンチャネルのスーパーファミリーに属します。nAChR は相同サブユニットからなる (ヘテロ) 五量体です。筋肉型および神経型の nAChR を構成する

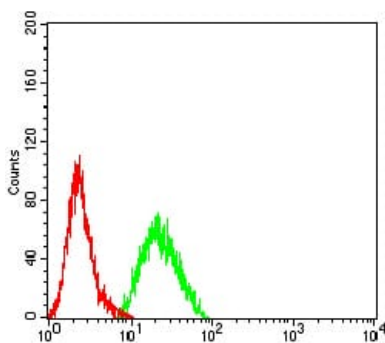
サブユニットは、それぞれ異なる遺伝子によってコードされており、一次構造が異なります。神経型 nAChR には、中心チャネル周囲に配置される相同サブユニットの種類によって複数のサブタイプが存在します。筋肉型  $\alpha$ -1 受容体 (MIM 100690) のように、アセチルコリン結合部位と推定される部位に隣接するシステイン残基のペアを持つ場合、 $\alpha$  サブユニットに分類されます。これらのシステイン残基を持たないサブユニットは  $\beta$  サブユニットに分類されます (Groot Kormelink and Luyten, 1997 [PubMed 9009220])。Elliott et al. (1996) [PubMed 8906617] は、各サブユニットの提案された構造は、保存された N 末端細胞外ドメイン、それに続く 3 つの保存された膜貫通ドメイン、可変細胞質ループ、4 番目の保存された膜貫通ドメイン、および短い C 末端細胞外領域であると述べています。

## 研究分野

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CHRN3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した SK-N-SH 細胞のフローサイトメトリー分析。